

じんけんげき
人権劇「教えて！ぼかぼか名人さん」シナリオ

ナレーター 二人の友だちがこそこそ話しています。

Cさん 「Aちゃんって、いやだよねー。」
Dさん 「えー、そんなことする人なのー。やだねー。」

ナレーター そんな二人の会話をBさんが聞きました。
あなたがBさんだったら、この後、どうしますか？
Bさんは、何とかしないとと思って、Aさんに話をしました。

Bさん 「ねえねえ、Aちゃん。さっきね。CさんとDさんがあなたの悪口言っ
てたよ。」
Aさん 「えー！何それ！ひどい！今から文句言いに行くから、ついてきて！」

Aさん 「さっき、私の悪口言ってたでしょ！知ってるんだよ！あなたたちこそ
ひどいじゃない！信じられない！」
Cさん 「何言ってるの？あなたが悪いんじゃない！」
Dさん 「そうよ！自分がしたことを考えなよ！」
Aさん 「何それ！わたしが何したって言うの？すごいムカツク！」
Cさん 「むかついてるのは私たちよ！」
Dさん 「もうあなたとは話さない！」
Aさん 「私だって、話したくなんかない！」
3人 「フン！」
Bさん 「どうしよう…。」

ナレーター するとそこへ、なかよし名人さんが来ました。

なかよし名人 「Bさん、どうしたんだい？」
Bさん 「あ、ぼかぼか名人さん。私、みんなのことを心配して言ったのに、大
変なことになっちゃった。どうしよう…。」
なかよし名人 「何があったのか、ちゃんと確かめなかったのはよくなかったね。じゃ
あ、私がどうしたらよかったのか教えてあげる。時間も戻してあげるか
ら、もう一度やり直してみたら。」
Bさん 「ありがとうございます！」

ナレーター なかよし名人さんは、Bさんに違うやり方をこっそり教えてくれました。

なかよし名人 「やり方はわかったかい？じゃあ、時間を戻すよ。ポカポカピーン！」
Bさん 「あー・・・。」

Bさん 「あれ？ほんとに戻ったの？」

Cさん 「Aちゃんって、いやだよねー。」

Dさん 「えー、そんなことする人なのー。やだねー。」

Bさん 「えー！ほんとに時間が戻ってる！」

Bさん 「いけない！ぼかぼか名人さんに教えてもらったことをしないと！」

ナレーター Bさんは、二人に近づいていきました。

Bさん 「ねえねえ、どうしたの？Aさんと何かあったの？」

Cさん 「あ、Bさん。Bさんも聞いて！さっきね、私が何もしてないのに、Aさんが私のこと、すごい怖い顔でにらんだんだよ！」

Dさん 「なんか、怖い・・・。」

Bさん 「二人ともちょっと待って。私、Aさんににらまれたことなんか、一回もないよ。Aさんが本当ににらんだったら、どうしてにらんだのか、Aさんに聞いてみなよ。」

Cさん 「え・・・。」

Dさん 「そうだよ！聞いてみなよ！」

Cさん 「わかった・・・。じゃあ聞いてみるから、二人ともついてきてくれる？」

Bさん、Dさん 「もちろん！」

Cさん 「Aちゃん、ちょっといい？」

Aさん 「何？」

Cさん 「あのさー、さっき私のこと、怖い顔でにらんだでしょ？私、Aちゃんに何かした？」

Aさん 「え？？？一体何のこと？私、Cちゃんをにらんだりなんてしないよ。」

Cさん 「え？？？ほらほら、給食の準備するときに、にらんだじゃない。」

Aさん 「え？？？給食時間？」

「あー！もしかして、献立表見てたとき？実は今日、嫌いな食べ物が出るって献立表に書いてあったから、それを見てたんだよ。やだなーって。でも、思ったよりおいしくて、全部食べれたの！」

Cさん 「なーんだ。そうだったんだー。にらまれたと思って、どきどきしてた。」

Aさん 「あはは。ごめんごめん。すぐ、そのときに聞いてくれたらよかったのに。」

Bさん 「あはは。そうだったんだー。」

Dさん 「よかったね！Cちゃん！」

Cさん 「Bちゃん、Aさんに確かめてみたらって言うてくれて、ありがとう！」

Bさん 「えへへ。実はね、私もぼかぼか名人さんに教えてもらったんだー。」

Cさん、Dさん 「なーんだ、そうだったんだー。」

Aさん 4人	「あ、あっちでぼかぼか名人さんが見てるよ！」 「ぼかぼか名人さん、ありがとう！」
ナレーター	みんなの笑顔を見て、ぼかぼか名人さんも笑顔で空に飛んでいきました。
ぼかぼか名人	「ポカポカピーン！」
ナレーター	みなさん、今日の劇はどうでしたか？同じようなことがあったとき、みなさんはどうしていますか？これから同じようなことがあったら、Bさんがしたことを思い出してみてくださいね。
全員	「おわり！」